

# コーヒーメーカー DCM-1603

## 取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



### も く じ

安全上のご注意	..... P. 2~3
各部の名称とはたらき	..... P. 4
正しい使いかた	..... P. 5~ 8
お手入れと保存	..... P. 9
修理・サービスを依頼する前に	..... P. 10



## 仕 様

品 名	コーヒーメーカー
型 名	DCM-1603
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	650W
最大使用水量	約800mL
抽出方式	ドリップ式
電源コード長さ	約1.4m
外形寸法	約 幅27× 奥行17.5 (サーバー取っ手含む) × 高さ30cm
質 量	約2.5kg
付属品	計量スプーン (1個)、紙フィルター (3枚)、取扱説明書・保証書 × 1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)




## 図記号の意味と例

	①は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、①の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

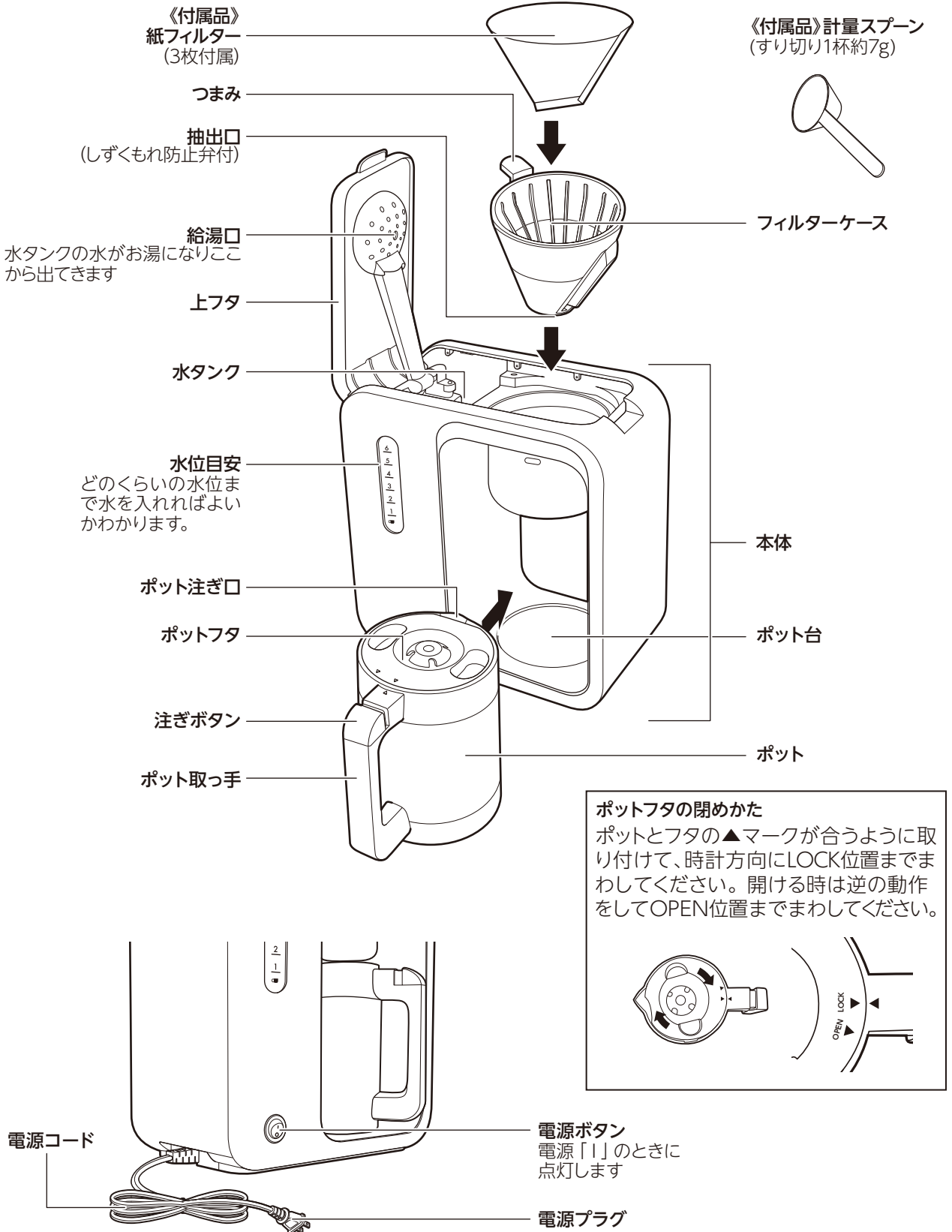
# 警告

	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。		電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 指示	定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
 禁止	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	カーテンなどの可燃物の近くで使わない。 火災の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはトップパリュお客様サービス係にご相談ください。
	ポットなしで使用しない。 コーヒーが飛び散って、やけどの原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用しない。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

# ⚠ 注意

 禁止	お手入れや持ち運び、保管のときは、本体が冷めてから行なう。 火災ややけどの原因になることがあります。	 禁止	決められた容量以上のコーヒー粉・水を入れない。 コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因になることがあります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になることがあります。		上ふたの周辺にふきんなどをかけてふさがない。 変形や変色の原因になることがあります。
	ドリップ中や使用直後、高温部に手を近づけない。特に乳幼児の手が触れないように、充分注意する。 やけどの原因になることがあります。		水タンクに水以外のものを入れない。 水タンクが変形することがあります。
	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。		ポットをのせたまま、本体を動かさない。 やけどやけがの原因になることがあります。
	ドリップ中や使用直後はポット台に触れない。 やけどの原因になることがあります。	 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。

# 各部の名称とはたらき



# 正しい使いかた

## 初めて使うとき

- ポットやフィルターケースを洗ってください。
- 水タンク内は、ぬるま湯に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとってください。
- 初めて使用するときや、長い間使用しなかったときは、コーヒー粉を入れないで2~3回水だけでドリッップをしてから使用してください。
- 使い始めはプラスチックの臭いがすることがありますが、しだいに臭いは少なくなります。

## ホットコーヒーの作りかた

### 1. 本体を正しく設置する

まだ電源コードはコンセントに差さないでください。

水平な熱に強い場所に設置してください。

- 電源ボタンが「○」側になっていることを確認してください。
- 水平な場所以外に設置すると、不意に上フタが閉まったり、お湯がこぼれたりしてとても危険です。



**注意**  
電源コードを本体ではさまないように、ポット台やポットに触れないように注意する。  
電源コードを傷めて感電や火災の原因になります。また、転倒させて破損やけがの原因にもなります。

### 2. 上フタをあけてフィルターケースを取り付ける

※ フィルターケースの取り付け前にポットを外してください。

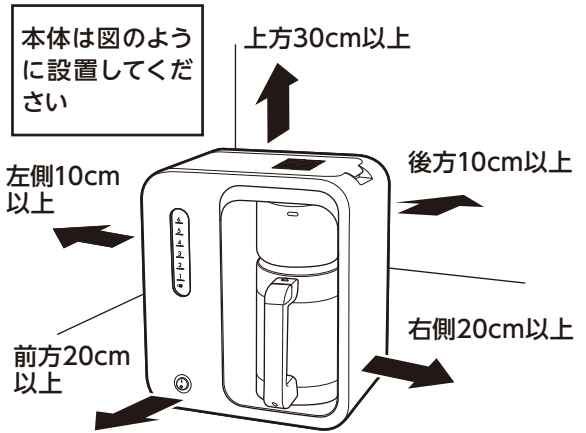
フィルターケースを△マークに合わせるようにして上からはめ込み、つまみを右に回して取り付けてください(「フィルターの取り付けかた」(7ページ)参考にしてください)。

※ フィルターケースを本体にロックしないと、ポットをポット台にのせたとき、フィルターケースが浮いてしまい正しく使用できません。

### 3. 紙フィルターの綴じ部を折り、フィルターケースに、紙フィルターを広げながら入れる

- 市販の紙フィルターは、1×2または102をお求めください。
- 右図のように紙フィルターを折り、フィルターケースに広げて入れてください。

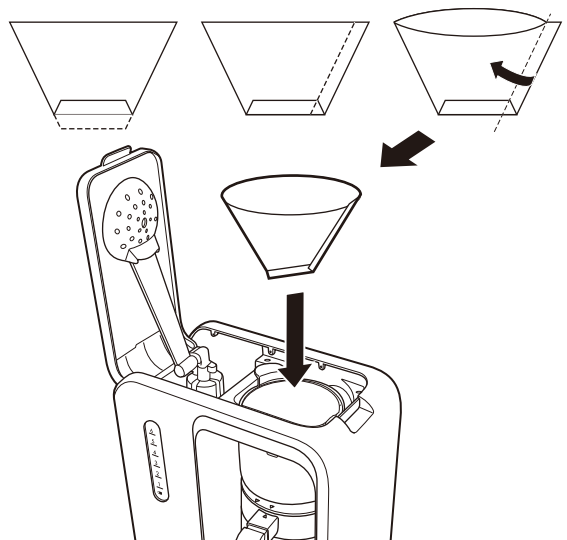
本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください。



• 次のような場所では使用しないでください。

- カーテンや壁、家具など、可燃物の近く
- 熱に弱い敷物の上
- 本体は、安定した水平な台などの上に設置してください。
- 本体が熱くなったり、上フタ周辺から湯気が出たりしますので、周囲から少し離してお使いください。

紙フィルターの折りかた・いれかた



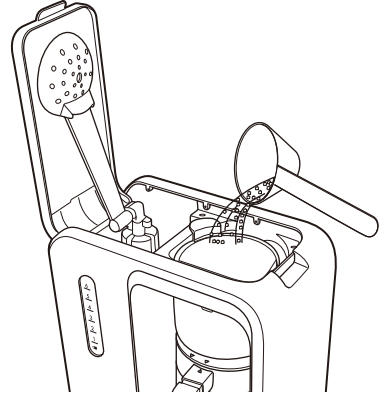
# 正しい使いかた (つづき)

## 4. 必要な量のコーヒー粉を入れる

いれるコーヒーの量に合わせ、コーヒー粉の量は好みにより加減してください。

### ⚠注意

- コーヒー粉は、細びき粉を使用しない。
- コーヒー粉は、必要な量以上入れない。  
コーヒーがこぼれて、やけどの原因になることがあります。



カップ数	コーヒー粉の量 (付属の計量スプーンですり切りではかった場合)	
	ホットコーヒー コーヒーカップ 約120 mL	アイスコーヒー (アイスコーヒー用粉)
1 カップ	1 杯	--
2 カップ	2 杯	4 杯
3 カップ	3 杯	6 杯
4 カップ	4 杯	--
5 カップ	5 杯	--
6 カップ	6 杯	--

## 5. コーヒーの量に合わせて、水タンクに水を入れる

コップなどを使って水を入れてください。

- 入れる水の量は、水位目安で確認してください。

### ⚠注意

- 水道の蛇口から直接水を入れない。  
水がこぼれて、感電やショートの原因になることがあります。
- 水は目盛り6以上入れない。
- 本体に水やコーヒーが入った状態で、本体を持ち運ばない。
- 水タンクに水以外のものを入れない。  
水タンクが変形することがあります。

## 6. ポットをポット台にのせていることを確認する

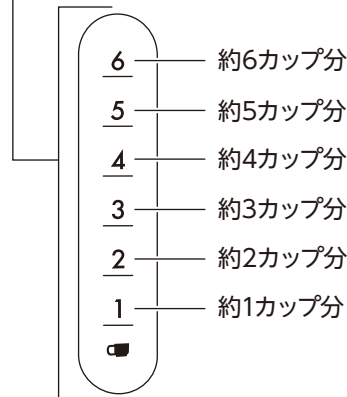
ポットとフィルターケースの抽出口が、正しく取り付けられていることを確認してください。

### ⚠注意

- ポットをのせたときに、抽出口がポットの中央部に位置しているかを確認する。  
コーヒーがこぼれて、やけどの原因になります。

### 水位目安

水を入れる目安  
コーヒーカップ(約120mL)のとき



# 正しい使いかた (つづき)

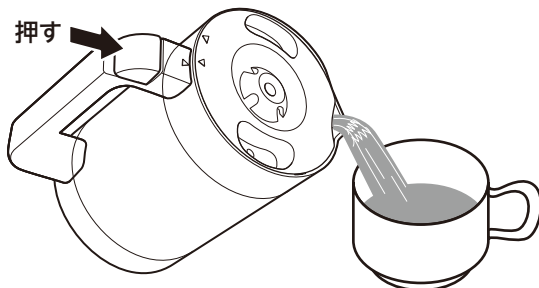
## 7. 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源スイッチを「I」側にする

電源スイッチを押して電源を「I」側になると、電源スイッチが点灯します。

しばらくするとコーヒーの抽出 (ドリップ) が始まります。

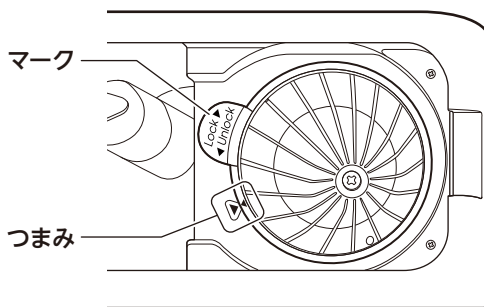
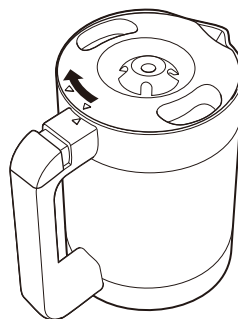


- ドリップ中は、上フタの周辺から蒸気が出るので、顔や手を近づけない。やけどの原因になります。
- ポットを倒さない。ポットに転倒湯漏れ防止機能がないため、ポットを倒すとコーヒーが漏れます。



## 8. ドリップが終了したら、電源スイッチを「O」側にし、電源プラグをコンセントから抜く

- 熱めのコーヒーを飲むときは、あらかじめカップを温めておいてください。
- お湯・蒸気が完全に止まってから、ポットを取り出してください。
- カップに注ぐときには、ポットの注ぎボタンを押しながら注ぎます。(ポット本体「▲」とふたのLOCK側「▼」が合っていることを確認してください。)
- ドリップ後に紙フィルターを捨てるときは、コーヒー粉が完全に冷めてから、上フタを開いて、フィルターケースを取り出して、紙フィルターを取りはずしてください。



## フィルターケースのはずしかた

以下の手順でフィルターケースを持ち上げるとはずれます。

- フィルターケースのつまみを左回し (上方向) にして△▽マークを合わせ、持ち上げてください。

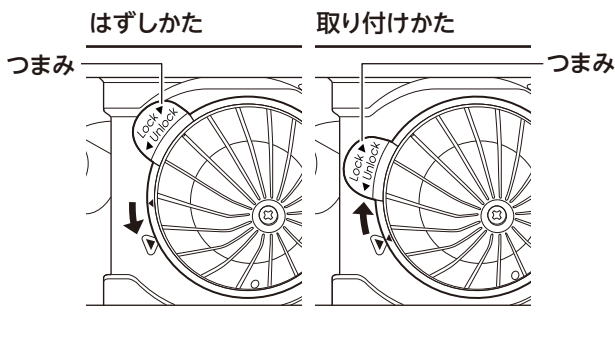
## フィルターケースの取り付けかた

※ フィルターケースの取り付け前にポットを外してください。

- フィルターケースを△▽マークを合わせるようにして上からはめ込み、つまみを右回しにして取り付けてください。

## 続けてコーヒーを作る

- 電源スイッチを「O」側にして、本体が冷めるまで10分以上待つて、ホットコーヒー・アイスコーヒーとも手順1からくり返してください。
- 10分以上置かずして再給水すると水蒸気の発生によって火傷する恐れがあります。



つまみを左回し(上方向)にして、ずれている△▽マークを合わせるようにする

△▽マークを合わせるようにフィルターケースを取り付け、つまみが動かなくなるまで右回し(下方向)にする



電源スイッチを必ずOFFにしてから、行なってください。

# 正しい使いかた (つづき)

## アイスコーヒーの作りかた

1. アイスコーヒー用粉と水をアイスコーヒーのカップ数に合わせて用意し、ホットコーヒーと同じ手順でコーヒーを作る

- コーヒー粉の量は、6ページ 表「コーヒー粉の量」を参考にしてください。

2. ポットのフタを開けて、氷を入れてフタをしっかりと閉める

氷の量は、コーヒーとほぼ同じ量が目安です。

- 砂糖を加える場合は、コーヒーが熱いうちに砂糖を加えて、溶かしてから氷を入れてください。

※ お好みでシロップや生クリームを加えてください。

## 途中で中止する

電源スイッチを「○」側にし、電源プラグを抜きます。お湯が出なくなってから、ポットを引き出し、水タンクの水を捨てます。



**警告** 外出や本体から長時間離れるときは、電源スイッチを必ずOFFにして、電源プラグをコンセントから抜く。消し忘れや火災の原因になります。



# お手入れと保存



**警告**

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。  
感電やけが、やけどの原因になります。

## お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体は水をかけて洗わないでください。感電・故障の原因になります。特に底部や電源スイッチ、電源コード関係のところは注意してください。
- もし底部や電源スイッチ、電源コードに水がかかってしまったときは、必ず乾いた布でふきとり、十分に乾燥させてから使用してください。

## 本体

ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）

## ポット・フィルターケース

丸洗いができます。ただし、樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。

## 紙フィルター

付属の紙フィルターがなくなりましたら、市販の紙フィルター1×2または102をお求めください。

## お湯の出が悪くなったとき

1. レモン汁1個分（種と絞りカスを除く）と水3カップを、ポットに入れよくかき混ぜます。
2. かき混ぜたレモン水を水タンクに入れ、コーヒーを作るときと同じ操作を行います。
3. 1と2を2回くり返したあと、ポットの水を捨てます。
4. 水だけで2～3回ドリップし、レモンのおいをとります。

## 保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っている箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。

# 修理・サービスを依頼する前に

**⚠警告** 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
ドリップできない コーヒーができない	• 電源プラグがコンセントに差し込まれていない	プラグを正しく差し込んでください
	• 水タンクに水が入っていない	水タンクに水を入れてください
	• コーヒー粉が入っていない	コーヒー粉を入れてください
	• 水タンクに水以外を入れた	充分お手入れをして、水が流れるようにしてください
コーヒーがあふれる	• コーヒー粉か水を入れすぎている	適切な量を入れてください
	• しずくもれ防止弁が押されていない	ポットを正しく取り付けてください
	• 適切なコーヒー粉を使用していない (細ひき粉を使用している)	適切なコーヒー粉 (中ひき粉、粗ひき粉) を使用してください
コーヒーがぬるい	• 寒冷地など厳しい環境で使用している	あたたかい場所でご使用ください
	• コーヒーカップをあたためていない	コーヒーカップをあたためてから、 コーヒーを注いでください
しずくもれ防止弁が効かない	• コーヒー粉などが弁に付着している	しずくもれ防止弁を上下させながら、 水またはぬるま湯で汚れを落としてください

## 長年ご使用のコーヒーマーカーはよく点検を

### このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤお客さま相談室に点検をご相談ください。